

公表:令和 4年 3月 31日

事業所名 こども発達LABO.Proリハ 東古松

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	3	0	スペースが確保できる利用人数に調整している。	
	② 職員の配置数は適切であるか	11	2	0	事業所間で応援体制を取り、必要な人員配置を随時行っている。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	0	0	バリアフリー化した設備になっている。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	0	11	2		自己目標シートを用いることで、職員が業務改善に努めていけるようにします。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	8	0	保護者アンケートは実施している。保護者からの相談に応じて対策に努めている。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	0	13	0		
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	13	0		
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	5	0	職員間の研修や、外部研修の参加の支援をしている。	
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	13	0	0	保護者との面談や、子どもに対しての評価・分析を行った上で、支援計画の作成を行っている。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	13	0	0	JPANやJSI-Rなど、数値化できるアセスメントツールを使用している。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	13	0	0	毎回、担当者間で話し合っている。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	2	0	担当者間で話し合い、プログラムが固定化しないように努めている。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	0	4	9		個別療育のため、個別に沿ったプログラムを行っていきます。長期休暇等に応じた課題の設定はしております。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	0	13	0	個別療育のみ実施しているため、個別活動に沿った支援計画を作成している。	
⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	0	0	毎回、担当者間で話し合っている。		

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	13	0	0	毎回、担当者間で話し合っている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13	0	0	SOAP記載を行っている。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10	3	0	半年ごとにモニタリングを実施し、保護者面談を行っている。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	11	2	0	アセスメントに加えて、ガイドラインを参照して、支援計画を立てている。	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	13	0	0	担当者が参加するようにしている。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	1	10	2	必要に応じて、随時情報共有を図っている。	必要に応じて、関係機関連携を行っていきます。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	0	13		医療的ケアや重症心身障害のある方の利用がないため。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	3	10		必要に応じて、随時情報共有を行っていきます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	0	13		今まで事例はないが、今後必要に応じて適切に対応していきます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	8	0	必要に応じて、随時情報共有を図っている。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	0	13		新型コロナウイルス蔓延のため、積極的な活動は行っていません。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	0	13		新型コロナウイルス蔓延のため、地域の協議会の開催を控えています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	13	0	0	毎回、相談時間を設けている。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	5	6	毎回、相談時間を設けて、家族支援を行っている。	ペアレント・トレーニングが行えるように、職員研修を実施します。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	3	0	契約時に行っている。	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	3	0	随時、相談支援を行っている。	
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	13		新型コロナウイルス蔓延に伴い、感染防止のため保護者会など実施していない。今後については感染状況を考慮しながら検討します。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	2	0	管理者に報告・相談の上、迅速に対応している。	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	5	0	ブログの発信に努めている。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	13	0	0		
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13	0	0		
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	13		新型コロナウイルス蔓延のため地域住民を招待するなどの活動や運営は不可能であったため。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	0	12	1		様々な場面を想定した訓練を実施していきます。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	8	0	避難方法を計画・周知している。	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	8	0	契約時に確認している。	
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	0	6	7		身体拘束を行う必要性のある子供の利用がないため、計画記載は実施していないが、必要性があれば身体拘束マニュアルに沿って計画していきます。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	8	0	契約時に必要に応じて、確認している。	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	8	0	ヒヤリハット報告書を作成し、共有・改善している。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。